

福生市の概要

福生市は、都心から西へ約 40km で通勤・通学に便利な一方、武蔵野台地の西端に位置し多摩川の河岸段丘上にひらけ、豊かな自然を有する奥多摩の山並みが近くに望めます。横田基地が市域の約 3 分の 1 を占めているため、基地部分を除くと行政面積は 26 市中では 2 番目に小さいながら、J R の駅が 3 路線 5 駅あるなど鉄道交通の便に恵まれています。道路交通網も整備され圏央道のインターチェンジにもアクセスしやすい環境にあります。このように、他の地域にはない利便性と特色のあるまちとして、昭和 45 年に市制施行を経て発展してきました。

福生 四季折々

福生の一年は四季折々、様々な表情で彩られます。

多摩川堤防沿いの桜並木が春の訪れを告げれば、夏には玉川上水を覆う木々が新緑に輝き、蛍が飛び交い、「七夕まつり」をはじめとするイベントでにぎわいをみせます。街路樹が紅葉し、ススキの穂がゆれるころには、市民が市民体育大会や文化祭で日ごろの活動の成果を存分に発揮し、新しい年を迎えると、新成人の晴着姿が冬支度をすませた街に色を付けます。



ふっさ桜まつり

ふっさの景観

人を優先するまちづくりの推進とともに、にぎわいと活気をもたらす長期的な都市骨格の形成に努めています。生活道路や通学路の安全を確保し、歩行しやすい、自転車でも移動しやすい環境を整備することにより、「福生デザイン」といえるような人にやさしいまちづくりを進めます。

景観に配慮するとともに、土地利用の状況や交通網整備の状況を絶えず検証しながら、市民が安全と利便性を享受する都市づくりを推進していきます。



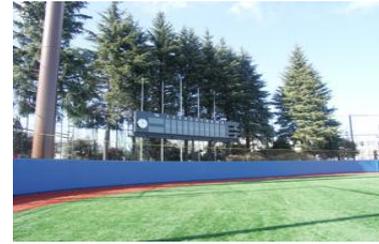
市役所から見る福生の街並

施設

市内には体育館をはじめとするスポーツ施設や公民館、図書館などの施設があり、市民が生涯にわたり健康づくりや学習することができる機会と場所を提供しています。市民の主体的な取組みを支援し、各施設は多くの利用者でにぎわいを見せます。更なる市民サー

ビスの向上を図るため、より利用しやすい施設を目指していきます。

また、平成 25 年度に東京都で開催される第 68 回国民体育大会に向けて、競技施設などの整備も進めています。



国体に向けリニューアルした市営球場

子育て 健康・福祉

少子化が進み、次代を担う子どもの人口が減少している中、子育ての不安や悩みを解消し、安心して子育てができるような環境の整備、サービスの充実を図っていきます。

また、「健康ふっさ 21」（福生市健康増進計画）を平成 18 年に策定し、市民の健康増進を積極的に行うとともに、市民の医療や福祉ニーズを的確に把握し、市民をサポートする仕組みの充実を図ります。だれもが豊かな都市生活を営めるよう、駅や公園、公共施設でのバリアフリー化を進め、高齢者や障害者（児）の日常的なサポートが充実したまちづくりに努めていきます。



様々な特典が受けられる
ふっさ子育てまるとくカード

防災 安全安心

地震や風水害等の災害に強いまちづくりを推進しています。市民、事業者、行政がそれぞれの役割に応じた取り組みを進めて、災害の防止、減災対策とともに、災害・非常時に即応できる地域防災体制の充実を図っています。

また、交通ルール・マナー向上の啓発を行い、防犯、交通安全の面から、すべての市民が安全に安心して生活し、活動できる環境づくりに努め、市民の生命と財産を守る安全なまちづくりを推進しています。



総合防災訓練の様子

環境 リサイクル

ごみの減量化を更に推進し、資源が循環して活用される資源循環型システムの更なる構築に向け、資源回収の徹底を図っていきます。あわせて、生活環境を悪化させるさまざまな原因を排除し、地球温暖化対策として低炭素社会の形成に努め、快適な生活が営める環境都市を



花いっぱい運動

目指していきます。

また、福生市は平成 20 年 11 月から環境マネジメントシステム「L A S - E」を導入しています。良好な地球環境を将来へ継承するために環境負荷を低減し、市役所から率先して地球環境の保全に取り組んでいます。

教育 文化

平成 22 年度に策定された「福生市教育振興基本計画」に基づき、学校・家庭・地域が更に連携を強め、福生市の学校教育を充実させることで、健やかに子どもが成長する環境をつくります。その中で、社会性を持ち国際化社会で活躍できるような次世代を担う人材をはぐくみます。

また、市内には長い歴史の中で引き継がれる貴重な歴史・文化遺産が多数残されています。市民の多くが郷土を愛し、誇りを持てるよう、地域の歴史と文化の継承にも努めていきます。



郷土資料室

商業振興・シティセールス

また、国道 16 号線沿いの商店街は、横田基地を背景に他では見られない個性を有し、休日には市内外の来訪者でにぎわいます。しかし、市内商業の振興にはまだ多くの方策が残されており、商業者、商工会などとの連携を強化し、若い人の活力が積極的に生かされるような、活力とにぎわいのある商業環境の形成を目指しています。



福生の「新」ご当地グルメ 『福生ドッグ』

市のまちづくりにおける重要課題のひとつが住民の定住化です。福生市では、平成 14 年以降人口が減少し続けています。人口減少、そして、少子高齢化の傾向の下、計画的な施策や事業を展開し、活力あるまちづくりに向けた取組みを進めることで、人口流出を抑制し、街づくりの中心的な担い手となる住民の増加と、定住化の促進をしたいと考えています。

そのために、我が市では、都市経営の視点に立って、市の魅力を発掘・創出し、広く情報発信をする「シティセールス推進課」を設置し、積極的に推進しています。